



**2022年3月期第2四半期  
決算説明資料**

2021年10月29日  
SGホールディングス株式会社

---

<b>1.</b>	<b>2022年3月期 第2四半期決算概要</b>	<b>1～9</b>
2.	2022年3月期の取組み	10～13
3.	2022年3月期 業績予想	14～17
4.	参考資料	18～21

---

## 2022年3月期第2四半期のハイライト

宅配便の取扱個数は、前年同期からの反動減はあったものの、営業活動等の成果により微増。ロジスティクス事業では、世界的に海上コンテナが不足するなか、海上及び航空コンテナのスペースを確保し、既存・新規顧客の旺盛な需要を取り込み、好調を継続。これらを主要因として、業績は堅調に推移。

### ● 業界関連

- 新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の拡大が続くなか、経済活動が制限されるなど、企業活動の持ち直しの動きはやや足踏み
- eコマース等を活用する新たな生活様式の定着もあり、通信販売市場の拡大は継続
- 世界的な海上コンテナ需給のひっ迫により、海上・航空運賃が高止まり

### ● 当社業績の概況

- 積極的な営業活動によりBtoBの取扱個数は増加。BtoCは前年同期の急激な需要増加の反動減があったものの、新たな生活様式の定着による通信販売需要などを取り込み底堅く推移
- TMS<sup>(1)</sup>は、GOAL<sup>(2)</sup>による提案営業の成果として増加
- フレイトフォワーディングにおいて、世界的に海上コンテナ需給がひっ迫するなか、継続的に海上及び航空コンテナスペースを確保したことにより、既存・新規顧客の旺盛な需要を取り込む

**注記** (1) TMS: Transportation Management System、当社グループの物流ネットワークを活用した宅配便以外の付加価値輸送サービス (2)「GOAL」はSGホールディングス株の登録商標

## 連結業績サマリー

(億円)	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比	2022年3月期 第2四半期累計 前回業績予想 (2021年7月30日公表)	業績予想比
営業収益	6,348	7,260	114.4%	6,800	106.8%
営業利益 (営業利益率)	524 (8.3%)	588 (8.1%)	112.1%	530 (7.8%)	111.0%
経常利益	527	588	111.5%	535	110.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	372	398	106.8%	370	107.6%
EBITDA	652	738	113.2%		

注記 億円未満切り捨て

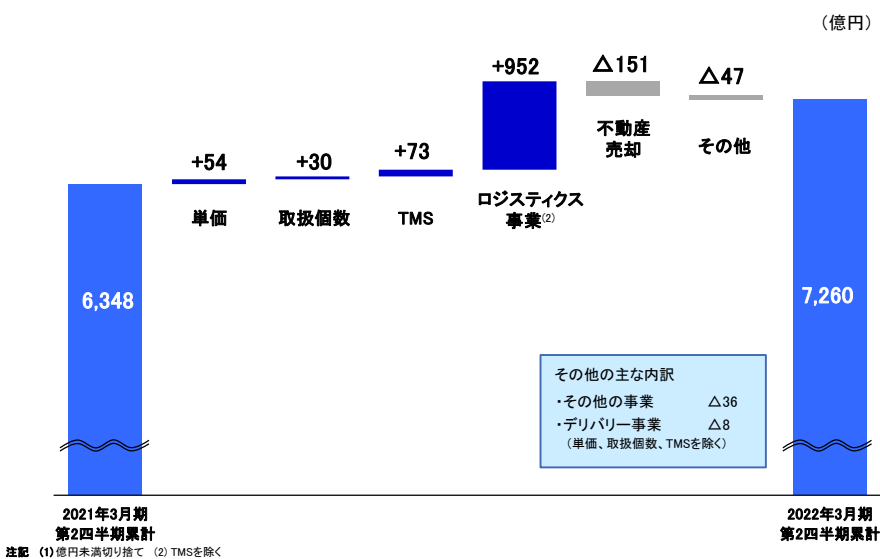
Copyright ©2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

3

### ■ 当社グループの業績（前年同期との比較）

- 営業収益： + 912億円
- 営業利益： + 63億円
- 経常利益： + 60億円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益： + 25億円
- EBITDA： + 86億円

## 営業収益の増減分析

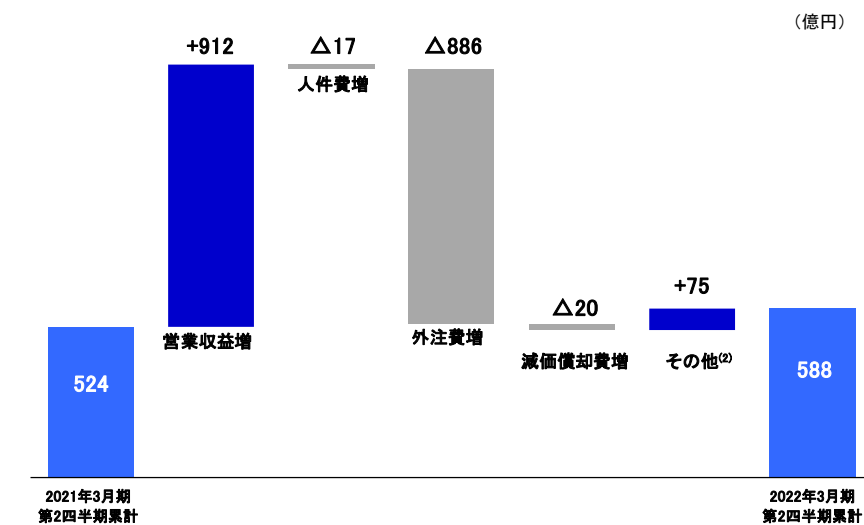


### ■ 実績（前年同期との比較）

- 平均単価 :            646 円（+        7円）
- 取扱個数 :        691 百万個（+    4百万個）
- TMS                :        520 億円（+    73億円）

（参考）稼働日前年増減： 平日±0、土曜日±0、日曜日±0

## 営業利益の増減分析



注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 「その他」は燃料費含む

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

### ■ 主な費用の内訳

- 人件費 : 2,207億円 (前年同期比 100.8%)
  - ロジスティクス事業増収に伴う増加
- 外注費 : 3,566億円 (前年同期比 133.1%)
  - デリバリー事業・ロジスティクス事業の増収に伴う増加
- 減価償却費 : 147億円 (前年同期比 115.8%)
  - X フロンティア減価償却費の増加
- その他(燃料費含む) : 751億円 (前年同期比 90.9%)
  - 不動産販売原価の減少

## セグメント別業績

(億円)	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比
<b>営業収益 合計</b>	6,348	7,260	114.4%
デリバリー事業	4,925	5,073	103.0%
ロジスティクス事業	899	1,853	206.0%
不動産事業	190	37	19.9%
その他の事業	332	295	88.9%
<b>営業利益 合計</b>	524	588	112.1%
デリバリー事業	336	379	112.8%
ロジスティクス事業	63	147	232.0%
不動産事業	95	24	26.3%
その他の事業	19	24	128.4%
調整額	10	11	113.6%

注記 億円未満切り捨て

Copyright ©2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

### 《増収増益》

デリバリー事業、ロジスティクス事業

### 《減収増益》

その他の事業

### 《減収減益》

不動産事業

## セグメント別業績概要

### デリバリー事業

- BtoBの取扱個数は、感染症拡大以前の水準には至らずも、前年同期から増加
- BtoCの取扱個数は、前年同期からの反動減はあったものの、通信販売需要の定着などにより底堅く推移
- 平均単価は、相対的にサイズの大きい荷物が増加したことに加え適正運賃收受の取組みにより上昇
- GOAL®による提案営業の成果としてTMSが好調に推移
- Xフロンティアの安定的な運営に加え、既存施設の増強や新規施設の開発を計画的に実施

### ロジスティクス事業

- 海上コンテナ需給がひっ迫し、海上・航空運賃が高止まりするなか、継続的に海上及び航空コンテナスペースを確保したことにより、顧客の旺盛な需要を取り込む
- GOAL®による包括的なソリューション提案により、3PL等の新規案件を受託

### 不動産事業

- 前期は第1四半期に実施した保有不動産の売却を当期は下期に予定

### その他の事業

- BPO案件が増加
- 自動車販売、e-コレクト®が減少

**注記** 「e-コレクト®」はSGホールディングス株の登録商標



## 連結キャッシュ・フロー計算書

### 主要キャッシュ・フロー項目

(億円)	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	653	△ 30
投資活動によるキャッシュ・フロー	388	△ 91
フリー・キャッシュ・フロー <sup>(2)</sup>	1,042	△ 122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 920	38
現金及び現金同等物の増減額	120	△ 82
現金及び現金同等物の四半期末残高	807	609

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

## ■ 連結キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー △30億円

主な内容：

税金等調整前四半期純利益	602億円
減価償却費	146億円
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7億円
投資有価証券売却損益 (△は益)	△17億円
売上債権の増減額 (△は増加)	△327億円
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13億円
法人税等の支払額	△276億円
未払費用の増減額 (△は減少)	△88億円
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△78億円
  
- 投資活動によるキャッシュ・フロー △91億円

主な内容：

有形固定資産の取得による支出	△193億円
無形固定資産の取得による支出	△27億円
投資有価証券の売却による収入	142億円
  
- 財務活動によるキャッシュ・フロー 38億円

主な内容：

短期借入金の純増減額 (△は減少)	145億円
長期借入れによる収入	153億円
長期借入金の返済による支出	△116億円
配当金の支払額	△113億円

## 連結貸借対照表

(億円)	2021年3月期末	2022年3月期 第2四半期	(億円)	2021年3月期末	2022年3月期 第2四半期
流動資産	3,036	3,298	負債	3,854	3,840
現金及び預金	691	609	買掛債務	797	773
営業債権及び その他の債権	1,878	2,174	有利子負債	1,237	1,418
棚卸資産	307	304	その他	1,818	1,647
その他流動資産	158	211	純資産	4,048	4,398
固定資産	4,866	4,939	親会社株主帰属分	3,983	4,312
有形固定資産	3,528	3,632	非支配株主持分	65	86
のれん	40	43			
その他固定資産	1,297	1,263	負債純資産合計	7,902	8,238
資産合計	7,902	8,238			

注記 億円未満切り捨て

### ■ 自己資本比率

- 自己資本比率： 52.3 %（前期末比 +1.9ポイント）

---

1.	2022年3月期 第2四半期決算概要	1～9
2.	<b>2022年3月期の取組み</b>	<b>10～13</b>
3.	2022年3月期 業績予想	14～17
4.	参考資料	18～21

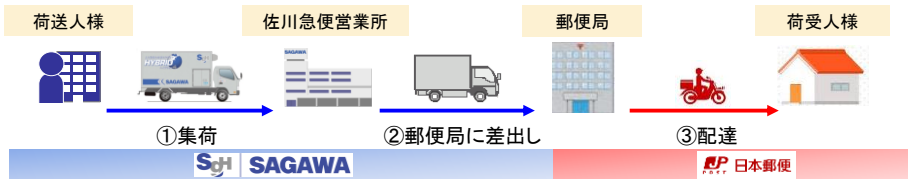
---

## 日本郵便株式会社との協業について

- 当社連結子会社の佐川急便株式会社と日本郵便株式会社が協業を発表(2021年9月10日)

### 協業時のオペレーションイメージ

#### ゆうパケット®



#### EMS



注記 「ゆうパケット®」は日本郵便株の登録商標

Copyright ©2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

## ■ 日本郵便株式会社との協業について

佐川急便では、2021年11月より日本郵便とのシナジーを最大限に

発揮することのできる小型宅配と国際輸送の分野で、新たなサービスを開始

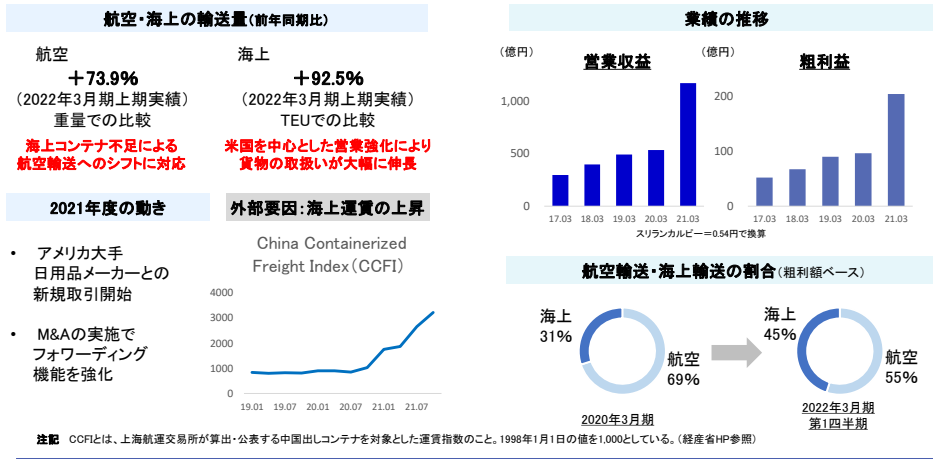
- ・ 郵便受けへの投函型宅配便サービス
- ・ 国際荷物輸送サービス

2022年1月からは、日本郵便が取り扱っている

保冷品配送サービスの一部を、佐川急便にて取り扱い開始予定

## エクスポランカ社について

- エクスポランカ社の業績について(ロジスティクス事業)
  - ・ コロナ禍における旅客便による貨物輸送能力の激減を起点とした“航空輸送から海上輸送への切替の動き”や米国の巣ごもり需要による海上貨物の急増に伴い、国際複合輸送は混乱をきたしている
  - ・ 同社は米国でのコンテナスペース確保を企図し営業強化に取り組み、海上貨物の取扱いを大幅に伸ばした



### ■ エクスポランカ社の概要

- ・ 設立：1978年
- ・ 本社：スリランカ
- ・ 当社による株式取得：2014年6月
- ・ 当社保有比率：75.6%（連結子会社）

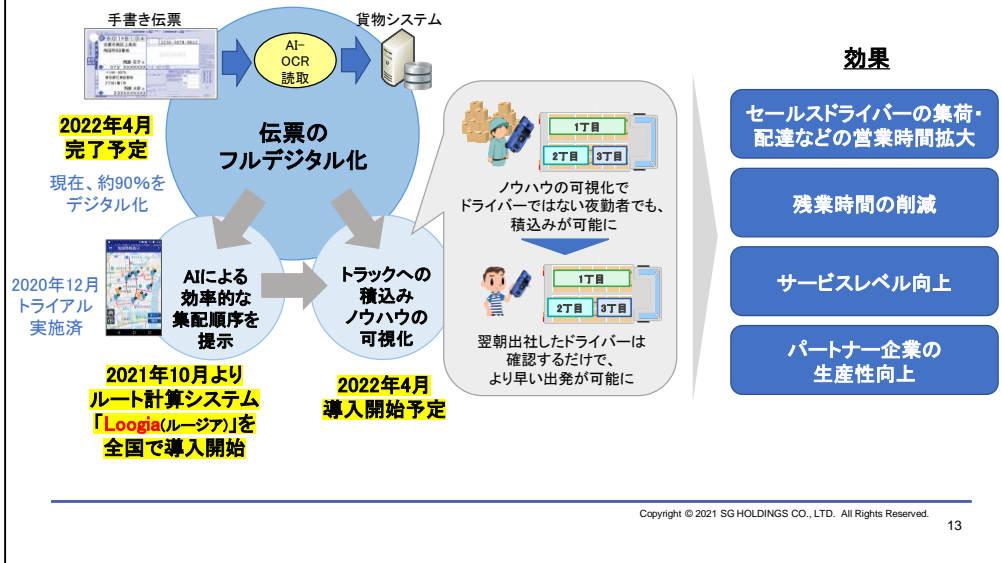
グローバル展開を行うアパレルメーカーが工場を置く南アジアを拠点に、欧米向けの航空輸送事業で成長。現在は海上輸送も主力事業。

### ■ 今後の事業展開

- ・ 新規顧客開拓や既存顧客との取引拡大、新たなエリア展開などビジネス基盤の強化も着実に進展
- ・ 今後も、欧米・南米・アフリカなどグローバルレーンの強化を通じ、持続的成長を目指す

## デジタルライゼーションに関する取り組みの進捗

- デリバリー事業において、伝票のフルデジタル化などに注力



### ■ デジタルライゼーションの取り組みのトピックス

佐川急便では、集配業務における業務効率化に向けて、

株式会社オプティマインドのラストワンマイルに特化した

ルート計算システム「Loogia(ルージア)」を2021年10月5日より全国で導入

### ■ 今後の展開

現在90%程度進捗している伝票のフルデジタル化が2022年4月を目途に完了予定

フルデジタル化により、一部残存する手作業での業務がなくなることや、

トラックへの夜間の積み込みが可能になることで、更なる生産性向上を見込む

---

1.	2022年3月期 第2四半期決算概要	1～9
2.	2022年3月期の取組み	10～13
<b>3.</b>	<b>2022年3月期 業績予想</b>	<b>14～17</b>
4.	参考資料	18～21

---

## 2022年3月期の取組み

### 2019年度～2021年度 中期経営計画 Second Stage 2021

#### <経営戦略>

- ① 物流ソリューションの進化
- ② 経営資源の価値最大化
- ③ デジタル化の推進と最新技術の導入
- ④ グローバル事業の拡大
- ⑤ 組織・人材の高度化
- ⑥ ガバナンス強化

### 2022年3月期の取組み

#### デリバリー事業

- GOAL®を中心としたTMS等のソリューション強化
- 適正運賃取受の取組みの継続
- Xフロンティアによるキャパシティ増加と輸送ネットワーク強化
- デジタル化による生産性向上と働き方改革の推進

#### ロジスティクス事業

- 海外3PLを含むサプライチェーン全体の機能強化・拡大
- グローバルフレイトフォワーディングのネットワーク拡大
- ジャパンレーンを中心とした越境EC等サービスの拡大

#### 不動産事業

- 物流機能を強化する施設開発の推進
- 保有不動産の継続的な売却

#### その他の事業

- 物流附帯業務としてサービス品質の維持・向上
- 物流と連携した新たな機能・サービスの開発



## 連結業績予想

		2021年3月期 実績	2022年3月期 前回業績予想 (2021年7月30日公表)	2022年3月期 業績予想	前期比	前回予想比
(億円)						
営業収益		13,120	13,450	14,500	110.5%	107.8%
営業利益 (営業利益率)		1,017 (7.8%)	1,140 (8.5%)	1,250 (8.6%)	122.9%	109.6%
経常利益		1,036	1,155	1,270	122.5%	110.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益		743	790	850	114.3%	107.6%
EBITDA		1,281	1,440	1,550	121.0%	107.6%
1株当たり 配当金 <sup>(3)</sup>	第2四半期末	18円	19円	20円	+6円	+3円
	期末	17円	19円	21円		
	合計	35円	38円	41円		

**注記** (1) 億円未満切り捨て (2) 2022年3月期業績予想の前提: デリバリー事業平均単価648円、取扱個数14.1億個 (3) 当社は、2020年11月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。2021年3月期の1株当たり配当金は期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の金額を記載しています。

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

16

### ■ 通期業績予想（前回予想との比較）

第2四半期の業績と足元の状況を踏まえ、通期業績予想を策定

- 営業収益： + 1,050億円
- 営業利益： + 110億円
- 経常利益： + 115億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益： + 60億円
- EBITDA： + 110億円

- 想定平均単価 648円 前回予想差 ± 0円
- 想定取扱個数 14.1億個 前回予想差 ± 0億個

#### 【参考】営業費用の前期増減内訳（前回予想差）

- 人件費 △ 43億円 (+ 95億円)
- 外注費 + 1,226億円 (+ 845億円)
- 減価償却費 + 39億円 (± 0億円)
- その他（燃料費含む） △ 76億円 (± 0億円)

## セグメント別業績予想

(億円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 前回業績予想 (2021年7月30日公表)	2022年3月期 業績予想	前期比	前回予想比
<b>営業収益 合計</b>	13,120	13,450	14,500	110.5%	107.8%
デリバリー事業	10,149	10,380	10,405	102.5%	100.2%
ロジスティクス事業	2,078	2,365	3,375	162.4%	142.7%
不動産事業	228	135	135	59.1%	100.0%
その他の事業	664	570	585	88.0%	102.6%
<b>営業利益 合計</b>	1,017	1,140	1,250	122.9%	109.6%
デリバリー事業	714	885	880	123.1%	99.4%
ロジスティクス事業	127	125	240	188.3%	192.0%
不動産事業	113	70	70	61.9%	100.0%
その他の事業	42	40	40	95.0%	100.0%
調整額	19	20	20	102.1%	100.0%

注記 億円未満切り捨て

Copyright © 2021 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

17

### ■ セグメント別業績予想（前回予想との比較）

・ 営業収益	+	1,050億円
デリバリー事業	+	25億円
ロジスティクス事業	+	1,010億円
不動産事業	±	0億円
その他の事業	+	15億円

・ 営業利益	+	110億円
デリバリー事業	△	5億円
ロジスティクス事業	+	115億円
不動産事業	±	0億円
その他の事業	±	0億円
調整額	±	0億円

#### ・ デリバリー事業

上期において感染症が拡大する中、エッセンシャルワーカーとして従事した佐川急便の従業員に対し、一時金の引き当てを実施

#### ・ ロジスティクス事業

海上コンテナ不足に伴う海上及び航空運賃高止まりの状況は、下期も当面継続すると想定

---

1.	2022年3月期 第2四半期決算概要	1～9
2.	2022年3月期の取組み	10～13
3.	2022年3月期 業績予想	14～17
4.	<b>参考資料</b>	<b>18～21</b>

---

## 商品・サービスの状況

### デリバリー事業 取扱個数・単価の状況

(百万個、円)	第1四半期			第2四半期			第2四半期累計		
	21年3月期	22年3月期	前年同期比	21年3月期	22年3月期	前年同期比	21年3月期	22年3月期	前年同期比
取扱個数 <sup>(1)</sup> 合計	342	347	101.5%	344	343	99.9%	686	691	100.7%
飛脚宅配便 <sup>(2)(4)</sup>	329	333	101.4%	329	330	100.0%	659	663	100.7%
その他 <sup>(3)</sup>	12	13	105.9%	14	13	96.0%	27	27	100.8%
平均単価	634	645	101.8%	643	648	100.7%	639	646	101.2%

### e-コレクト<sup>(4)</sup> 個数・決済金額の状況

(百万個、億円)	第1四半期			第2四半期			第2四半期累計		
	21年3月期	22年3月期	前年同期比	21年3月期	22年3月期	前年同期比	21年3月期	22年3月期	前年同期比
個数	22	19	87.4%	22	17	78.9%	44	37	83.2%
決済金額	2,467	2,274	92.2%	2,538	2,084	82.1%	5,006	4,358	87.1%

### TMSの状況

(億円)	第1四半期			第2四半期			第2四半期累計		
	21年3月期	22年3月期	前年同期比	21年3月期	22年3月期	前年同期比	21年3月期	22年3月期	前年同期比
売上高	212	249	117.6%	234	270	115.5%	446	520	116.5%

注記 (1) 徳円未満切り捨て。(2) 飛脚宅配便は、佐川急便様が国土交通省に届け出ている宅配便の個数 (3) その他は、飛脚ラージサイズ宅配便<sup>(4)</sup> 及びその他の会社の取扱個数  
(4) 「飛脚宅配便<sup>(2)</sup>」、「飛脚ラージサイズ宅配便<sup>(3)</sup>」はSGホールディングス様の登録商標

## 営業費用の内訳

### 連結決算 主要費用項目

(億円)	第1四半期			第2四半期			第2四半期累計		
	21年3月期	22年3月期	前期比	21年3月期	22年3月期	前期比	21年3月期	22年3月期	前期比
<b>営業費用 合計</b>	2,899	3,186	109.9%	2,924	3,485	119.2%	5,823	6,671	114.6%
人件費	1,096	1,093	99.7%	1,094	1,114	101.9%	2,190	2,207	100.8%
外注費(備車費含む)	1,300	1,656	127.4%	1,379	1,909	138.4%	2,679	3,566	133.1%
燃料費	20	26	129.2%	25	31	123.5%	46	58	126.0%
減価償却費	62	72	115.2%	64	74	116.3%	127	147	115.8%
その他経費	419	337	80.5%	361	355	98.5%	780	692	88.8%

### デリバリー事業 主要費用項目

(億円)	第1四半期			第2四半期			第2四半期累計		
	21年3月期	22年3月期	前期比	21年3月期	22年3月期	前期比	21年3月期	22年3月期	前期比
<b>営業費用 合計</b>	2,380	2,451	103.0%	2,416	2,467	102.1%	4,797	4,920	102.6%
人件費	964	939	97.4%	956	955	99.9%	1,920	1,894	98.7%
外注費(備車費含む)	1,097	1,178	107.3%	1,128	1,169	103.6%	2,226	2,347	105.4%
燃料費	20	26	129.2%	25	31	124.0%	45	57	126.3%
減価償却費	44	51	116.5%	44	53	119.0%	88	104	117.8%
その他経費	253	256	101.1%	262	258	98.3%	516	515	99.9%

注記 億円未満切り捨て

## 従業員・車両・拠点の状況

(人、台、店)		2021年3月期末	2022年3月期 第2四半期末
連結従業員数 (うちパートナー社員等 <sup>(1)</sup> )	合計	97,774 (45,753)	97,513 (44,740)
デリバリー事業		79,902 (36,839)	78,918 (35,323)
ロジスティクス事業		13,172 (6,886)	13,466 (7,017)
不動産事業		63 (-)	65 (-)
その他の事業		3,888 (1,801)	4,288 (2,184)
全社(共通)		749 (227)	776 (216)
佐川 急便	車両台数	26,673	26,637
	主な拠点数	864	870
	中継センター	23	23
	営業所	428	428
	小規模店舗 <sup>(2)</sup>	413	419

注記 (1) 期中の平均人員数 (2) サービスセンター、デリバリーセンターの合計

## ディスクレイマー

本資料は、SGホールディングス㈱(以下、「当社」とします)及びそのグループ会社(以下当社とあわせて、「当社グループ」とします)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。また、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料に、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクとしては、金利の変動、株価の低下、為替相場の変動、保有資産の価値変動、信用の低下、国内外の企業の生産活動または個人消費の低迷、原油価格の高騰、人件費の高騰、eコマース市場の低成長、㈱日立物流との資本業務提携のシナジーの未実現やディスシナジーの発現、システム・事務・人的・法令違反リスク、不正・不祥事の発生、風評・風説等によるイメージ・信用の低下、事業戦略・経営計画が奏功しないリスク、業務範囲の拡大等に伴う新たなリスク、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、業務提携・外部委託等に伴うリスク、繰延税金資産の減少その他様々な要因が挙げられますが、これらに限られません。

なお、本資料における記述は本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

また、本資料に記載されている当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。